

介護品質に関する国際標準規格の開発

- ▶ 高齢者向けの介護・ヘルスケアサービスの提供に関する国際規格
- ▶ 施設介護および在宅介護における品質向上と継続的な改善に使用
- ▶ 普及・活用のため、関連する実践例をまとめた事例集を開発中

ISO/DIS 25557 Care quality for older persons at home and in care facilities

- ISO/TC 314 Aging Society (高齢社会) /WG 8 Care (介護) において開発中
 - イギリス提案で、日本、スウェーデン、カナダ、シンガポール、オーストラリア等が参加
- 2025年11月時点で、DIS (Draft International Standard) 段階で、発行は間近
- 施設介護、在宅介護を問わず、高齢者介護を提供するすべての事業者に適用され、高齢者向けの介護サービスおよびヘルスケアサービスの提供に関する要求事項および推奨事項を規定している
- 本規格では包括ケアおよびパーソンセンタード・ケアの考え方に基づき、高齢者が尊厳をもって自立し、安心して暮らし続けることができるよう、介護サービスの品質を確保・向上させることを目的としている。また、介護提供者・行政・地域社会など多様な関係者が共通の枠組みを用いて、高品質の介護を提供し、継続的に改善するために使用される
- 本規格には以下の内容に関する、要求事項、推奨事項が含まれる
 - 4章 介護サービス事業者の背景
 - 5章 介護サービスにおけるリーダーシップ
 - 6章 介護サービスにおけるリスク管理
 - 7章 介護サービス提供のための資源と施設
 - 8章 介護サービスの提供
 - 9章 介護サービスの改善
 - 10章 提供された介護サービスの評価



ISO/TC 314の総会の様子

事例集の開発

- ISO 25557の活用と普及を目指し、規格を適用する際の参考資料として活用できる事例集を開発中 (ISO/AWI TR 25998)
- 地域包括ケアシステムに基づく高齢者の世代交流や社会参加の事例など、本規格の要求事項、推奨事項について、各章ごとに関連が深い実践例を国内外から収集し、特徴を整理する